

第3章 基本的な考え方

第1節 目的

急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、子どもの最善の利益を基本として、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現を目的とします。

第2節 基本理念

本計画においては、本市の子ども・子育て支援を推進するにあたり、芦別市が目指すべき基本理念として次のとおり掲げます。

『子どもたちが輝き、笑顔あふれるぬくもりのあるまち』

本市では、これまで、次代を担う子どもたちの幸せを第一に考え、家庭や地域の子育てに対する意識が高まるような様々な支援を行うことにより、子育てを通して大きな喜びを実感できるまちづくりを目指してきました。

この計画においては、保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的意識の下に、家族、学校、地域、職域その他の社会のあらゆる分野におけるすべての構成員が、各々の役割を果たすとともに、相互に協力して、「子どもたちが輝き、笑顔あふれるぬくもりのあるまち」を目指します。

第3節 基本的視点

本市では、「あしべつっ子^{ゆめ}次世代プラン」を策定し、すべての子どもとその家庭を対象とした次世代育成支援を総合的かつ計画的に推進してきました。

子どもと家庭を取り巻く状況が大きく変化している中、子どもは、社会の希望であり、未来をつくる存在であります。子どもの健やかな育ちと子育てを支えることは、一人ひとりの子どもや保護者の幸せにつながるとともに、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを

感じるができるよう支援をしていくことが大切であります。

本計画の策定及び個別施策の実行にあたっては、以下に示す3つの基本的視点としました。

1 子どもの育ちを支援するまちづくり

子どもたちが健やかで心豊かに成長していくためには、乳児、幼児、学童期などの特性を踏まえ、一人ひとりの子どもに質が高くきめ細やかな教育・保育環境を提供するとともに、子どもの視点に立った取り組みを進めます。

2 子どもを健やかに育む家庭を支援するまちづくり

子育てについては、父母、その他の保護者が第一義的責任を持つという認識の下に、家庭その他の場において子育ての意義が十分に理解され、子育ての喜びを実感できるよう、安心して子育てができる環境の整備を進めます。

3 子育てを支える地域を支援するまちづくり

子どもの健やかな成長を実現するためには、社会における一人ひとりが、子どもの育ちと子育て支援に対する関心と理解を深め、各々の役割を果たすとともに、社会全体による子育て支援の仕組みづくりを進めます。



【子どもの育ちに関する理念】

① 乳児期

乳児期は、一般に、身近にいる特定の大人（実親のほか、里親等の実親以外の養育者を含む。）との愛着形成により、情緒的な安定が図られるとともに、身体面の著しい発育・発達が見られる重要な時期です。子どもが示す様々な行動や欲求に、身近な大人が応答的かつ積極的に関わることにより、子どもの中に人に対する基本的信頼感が芽生え、情緒の安定が図られます。こうした情緒の安定を基盤として心身の発達が促されるなど、人として生きていく土台がこの時期に作られます。

② 幼児期 3歳未満

おおむね満3歳に達するまでの時期は、一般に、基本的な身体機能や運動機能が発達し、様々な動きを十分楽しみながら、人や物との関わりを広げ、行動範囲を拡大させていく時期です。自我が育ち、強く自己主張することも多くなりますが、大人がこうした姿を積極的に受け止めることにより、子どもは自分に自信を持ちます。自分のことを信じ、見守ってくれる大人の存在により、子どもは時間をかけて自分の感情を鎮め、気持ちを立て直すようになります。安心感や安定感を得ることにより、子どもは身近な環境に自ら働きかけ、好きな遊びに熱中したりやりたいことを繰り返し行ったりするなど、自発的に活動するようになります。こうした自発的な活動が、主体的に生きていく基盤となります。また、特定の大人への安心感を基盤として、徐々に人間関係を広げ、その関わりを通じて社会性を身に付けていきます。

③ 幼児期 3歳以上

おおむね満3歳以上の時期は、一般に、遊びを中心とした生活の中で、特に身体感覚を伴う多様な活動を経験することにより、豊かな感性とともに好奇心、探究心や思考力が養われ、それらがその後の生活や学びの基礎になる時期です。また、ものや人との関わりにおける自己表出を通して、幼児の育ちにとって最も重要な自我や主体性が芽生えるとともに、人と関わり、他人の存在に気付くことなどにより、自己を取り巻く社会への感覚を養うなど、人間関係の面でも日々急速に成長する時期です。このため、この時期における育ちは、その後の人間としての生き方を大きく左右する重要なものとなります。

④ 学童期

小学校就学後の学童期は、生きる力を育むことを目指し、調和のとれた発達を図る重要な時期です。この時期は、自立意識や他者理解等の社会性の発達が進み、心身の成長も著しい時期です。学校教育とともに、遊戯やレクリエーションを含む、学習や様々な体験・交流活動のための十分な機会を提供し、放課後等における子どもの健全な育成にも適切に配慮することが必要です。

第4節 施策体系

芦別市次世代育成支援行動計画（後期計画）を踏まえて、子ども・子育て支援の施策について、方向性をまとめます。

基本理念	基本的視点	基本目標		基本施策
子どもたちが輝き、笑顔あふれるぬくもりのあるまち	子どもの育ち	目標1	質の高い教育・保育の提供	<ol style="list-style-type: none"> 1 幼稚園・保育園の整備 2 保育士の配置基準 3 利用者へのサービスの充実 4 一時預かり保育の充実 5 延長保育の推進 6 質の高い教育・保育サービスの充実
		目標2	様々な状況にある子どもへのきめ細やかな取り組みの推進	<ol style="list-style-type: none"> 1 留守家庭児童会の整備・充実 2 特別な支援が必要な子どもへの支援の充実 3 経済的支援の充実 4 ひとり親等の自立支援の体制づくり 5 不登校児童・生徒への支援の充実 6 児童虐待防止対策の強化
		目標3	子どもが心身共に健やかに育つ環境づくり	<ol style="list-style-type: none"> 1 福祉と教育の連携 2 子どもを取り巻く有害環境対策の推進 3 家庭児童相談業務の充実
	子どもを健やかに育む家庭	目標4	安心して産み育てることを見守る体制づくり	<ol style="list-style-type: none"> 1 多様な子育て支援サービスの充実 2 妊娠期から乳幼児期等の親子の健康づくり及び育児支援体制の充実 3 小児医療の充実 子どもの健康管理と事故予防 4 個別に応じた育児支援 5 食育の推進
		目標5	子育てと仕事の両立を支援する環境づくり	<ol style="list-style-type: none"> 1 一時預かりなどの家族支援の充実 2 仕事と子育ての両立支援 3 放課後児童の居場所づくり
	子育てを支える地域	目標6	地域における子育て支援の充実	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもの健全育成の推進 2 子育て支援のネットワークづくり 3 子育て支援サポーター等人材育成の推進
		目標7	安心・安全な子育てを支える地域づくり	<ol style="list-style-type: none"> 1 交通安全、犯罪防止等子どもを守る安全なまちづくり 2 公園、道路等生活環境の整備 3 地域で支える児童虐待対策の強化

